

「放送用周波数の活用方策に関する検討分科会」
の検討事項等について

事 務 局

「放送用周波数の活用方策に関する検討分科会」の検討事項等について

背景・目的

規制改革実施計画（平成30年6月15日閣議決定）を受け、放送大学の地上放送跡地及びV-High帯域の活用方策について検討を行うため、「放送を巡る諸課題に関する検討会」の下に「放送用周波数の活用方策に関する検討分科会」を設置して検討。

《参考》 「規制改革実施計画」（平成30年6月15日閣議決定） 抜粋

(3) 放送を巡る規制改革（通信と放送の枠を超えたビジネスモデルの構築）

18 インターネット同時配信の推進、通信・放送の枠を超えて新たな環境に対応したプラットフォーム・配信基盤の構築

e 放送大学の地上放送跡地、V-High帯域を、新たなプラットフォームへも活用する可能性について検討する。

19 新規参入の促進

a 地上放送について、放送大学学園による地上放送が本年9月末に終了することから、その跡地の新たな割当てに係る方針について、特に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に利用した後の活用方策について、新規参入の可能性やサービス高度化の可能性を含めて所要の方針の策定を行う。

c V-High帯域について、現在、サービス提供を行う者が存在しておらず空き帯域となっていることから、総務省が本年2月に公表した意見募集結果も踏まえ、通信・放送融合時代における新たなサービス・ビジネスモデルの創出も視野に入れた活用方策を検討する。

検討事項

1. 放送大学の地上放送跡地の活用方策
 - ・ 放送サービスの高度化や新規参入の可能性 等
2. V-High帯域の活用方策
 - ・ 公募結果を踏まえたヒアリング、第二次公募の実施 等
3. その他関連事項

開催状況

- | | | |
|---------------|---|-----------------------------|
| 第1回（平成30年11月） | } | ・ 放送跡地及びV-High帯域の現状等 |
| 第2回（平成30年12月） | | |
| ～第4回（平成31年3月） | } | ・ V-High帯域の利活用方策に関するヒアリング等 |
| 第5回（平成31年3月） | | |
| 第6回（平成31年4月） | | |
| | } | ・ V-High帯域の活用方策に関する取りまとめ（案） |
| | | |
| | } | ・ パブコメでの提出意見と分科会の考え方の整理、 |
| | | |
| | } | ・ V-High帯域の活用方策に関する取りまとめ |
| | | |